

秘音^{けい}指^い沖^こ和^ご護^ご
全

特 71

531

300947-000-0

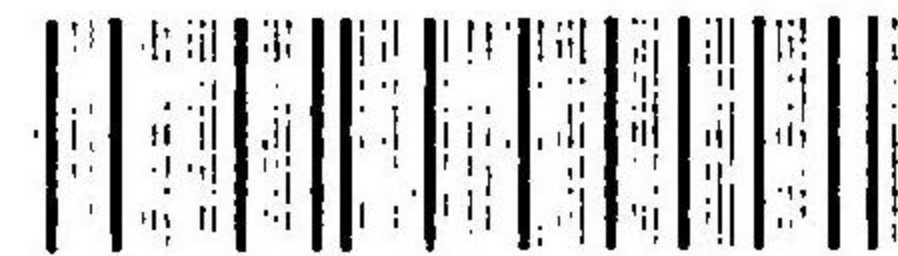
特 71-531

正信念仏和讃

林 文助 / 刊

M22.4

ABA-0046



持
53

1648

正信偈 御代附 改悔文

念佛入 浄土和讃 節章附

蓮子御和讃



77W21648

正信念仏和讃

念仏和讃
念仏和讃
念仏和讃
念仏和讃

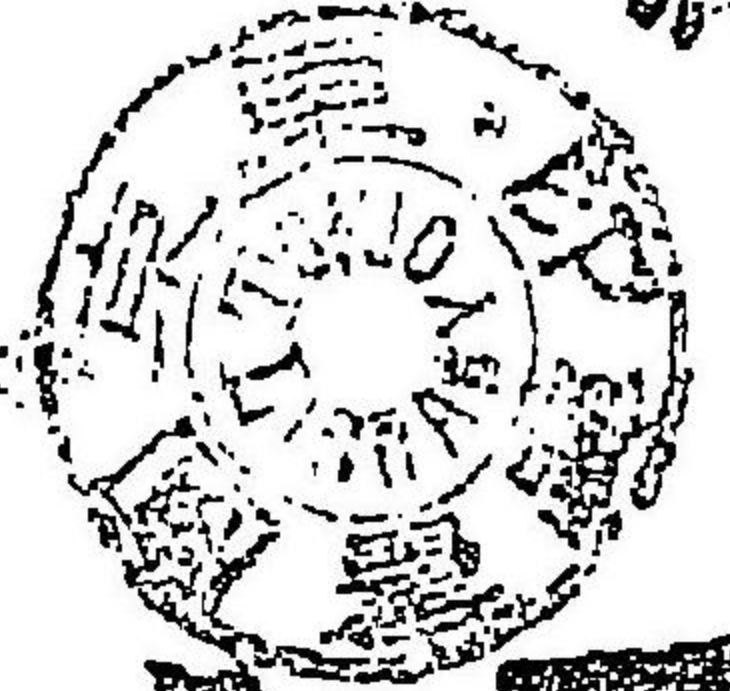
あはれに
あはれに
あはれに
あはれに

あはれに
あはれに
あはれに
あはれに

あはれに
あはれに
あはれに
あはれに

あはれに
あはれに
あはれに
あはれに

あはれに
あはれに
あはれに
あはれに



一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

▲ ^{アイ} 此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、

▲ 此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、
此の如くは、

Handwritten text in a cursive script, likely a list or series of entries. The text is written in a dark ink on a light background. It begins with a small triangle symbol (▲) and continues with several lines of text, ending with a small square symbol (■). The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or series of entries. The text is written in a dark ink on a light background. It begins with a small triangle symbol (▲) and continues with several lines of text, ending with a small square symbol (■). The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or series of entries. The text is written vertically on the right page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or series of entries. The text is written vertically on the left page of the manuscript.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense, cursive writing.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense, cursive writing.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a cursive style and spans approximately 10 lines. The script is dense and characteristic of classical Arabic calligraphy.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage. The text is written in a cursive style and spans approximately 10 lines. The script is dense and characteristic of classical Arabic calligraphy.

ひらきでんかのせき
 じやうしやうしやう
 せきせきせきせき
 だうだうだうだう
 せきせきせきせき
 せきせきせきせき
 せきせきせきせき
 せきせきせきせき

ああああ
 ひびむ
 あああ
 えええ
 せきせきせきせき
 せきせきせきせき
 せきせきせきせき
 せきせきせきせき

か か か か
ひ ひ ひ ひ
あ あ あ あ
え え え え
く く く く
ふ ふ ふ ふ
し し し し
ち ち ち ち
つ っ っ っ
て て て て
と と と と
な な な な
に に に に
ぬ ぬ ぬ ぬ
ね ね ね ね
の の の の
ほ ほ ほ ほ
へ へ へ へ
ほ ほ ほ ほ
へ へ へ へ
ほ ほ ほ ほ
へ へ へ へ
ほ ほ ほ ほ
へ へ へ へ

か か か か
ひ ひ ひ ひ
あ あ あ あ
え え え え
く く く く
ふ ふ ふ ふ
し し し し
ち ち ち ち
つ っ っ っ
て て て て
と と と と
な な な な
に に に に
ぬ ぬ ぬ ぬ
ね ね ね ね
の の の の
ほ ほ ほ ほ
へ へ へ へ
ほ ほ ほ ほ
へ へ へ へ
ほ ほ ほ ほ
へ へ へ へ
ほ ほ ほ ほ
へ へ へ へ

奇^カ奇^カ奇^カ奇^カ奇^カ
 ひ^ヒひ^ヒひ^ヒひ^ヒひ^ヒ
 わ^ワわ^ワわ^ワわ^ワわ^ワ
 え^エえ^エえ^エえ^エ
 た^タた^タた^タた^タた^タ
 ぶ^ブぶ^ブぶ^ブぶ^ブ
 つ^ツつ^ツつ^ツつ^ツ

奇^カ奇^カ奇^カ奇^カ奇^カ
 ひ^ヒひ^ヒひ^ヒひ^ヒひ^ヒ
 わ^ワわ^ワわ^ワわ^ワわ^ワ
 え^エえ^エえ^エえ^エ
 た^タた^タた^タた^タた^タ
 ぶ^ブぶ^ブぶ^ブぶ^ブ
 つ^ツつ^ツつ^ツつ^ツつ^ツ

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes, located on the right page of the manuscript. The text is written in dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes, located on the left page of the manuscript. The text is written in dark ink on aged paper.

あつちからいもかんたなよまろ
くろくろあうたうひよかたせ
けいけいあふあふあふあふ
あつちからいもかんたなよまろ
あつちからいもかんたなよまろ
あつちからいもかんたなよまろ
あつちからいもかんたなよまろ

あつちからいもかんたなよまろ
あつちからいもかんたなよまろ
あつちからいもかんたなよまろ
あつちからいもかんたなよまろ
あつちからいもかんたなよまろ
あつちからいもかんたなよまろ
あつちからいもかんたなよまろ
あつちからいもかんたなよまろ

あしきとむらひのさかすま
かきかきとむらひのさかすま
ひるよとむらひのさかすま
はむらひのさかすま
あしきとむらひのさかすま
あしきとむらひのさかすま

あしきとむらひのさかすま
あしきとむらひのさかすま
あしきとむらひのさかすま
あしきとむらひのさかすま
あしきとむらひのさかすま
あしきとむらひのさかすま

まじりあふるるやうに
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと

あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと
あつちあつちと

和

ハ

本願寺御代之次第

親繼鳥聖人

弘長三年正月廿八日 満在女

如信人

正安三年正月四日 空在女

覺如人

觀應三年正月十九日 空在女

善如人

康應元年二月廿九日 空在女

純如人

明德二年四月廿四日 空在女

巧如人

永享三年十月十四日 空在女

存如人

長祿元年六月十八日 空在女

蓮如人

明應八年三月廿五日 空在女

實如人

太永五年二月二日 空在女

西

證如上人

天文三十四年
八月十三日

三十九

顯如上人

文祿元年
十二月九日

五十七

准如上人

寬永七年
十一月晦日

五十四

良如上人

寬文三年
九月七日

五十二

寂如上人

享保十七年
七月八日

五十五

東

住如上人

元文四年
八月六日

六十七

湛如上人

寬保元年
六月八日

九十六

教如上人

慶長九年
十月五日

五十五

宜如上人

万治元年
七月九日

五十五

琢如上人

寬文十年
四月十四日

四十二

和

常如夫人

元禄七年
五月廿二日

五十四

一如夫人

元禄十三年
四月十一日

五十二

真如夫人

延享元年
十月二日

六十二

從如夫人

宝曆十一年
七月十日

五十一

改悔文

徳のむらさきをうきあはれしをき

ま心よあはれしをきまの戦雲

外は後世の勲とせられたまふ

たのむ念行時如東の勲一定

つがはせし治定とあはれしを

和

四

たれふ念公の事はれに
 高きものやとまき徹を
 山をいかに世の足穿か
 ぬまの者も蔵のたつた
 のかひひしきまはひに
 獲たるる念公の事はれに

明治二十二年四月十九日印刷
 明治同 年同月二十日出板
 岐阜縣美濃國守見郡
 上加納村十番地
 發行者兼 印刷者 林 文助

